

# 市民研究員養成講座 シダグループの活動報告

佐藤 利幸\*

## 1 はじめに

シダ植物に興味のある市民にシダについて学んでもらい、学びを深めた力で茅野市を中心にした現在のシダ植物の生育状況を調査し、結果を標本と共に博物館に資料として蓄積し、自然を扱う地域の総合博物館として機能させる。市民はシダ植物を学ぶという生涯学習を、ただ学ぶのではなく地域の調査研究に役立てるという活動に結びつける。学びと共に社会貢献することにやり甲斐、生き甲斐を感じてもらおう。その事によって博物館を高めようというのが市民研究員養成講座のコンセプトである。そのコンセプトに沿って3年間、茅野市のシダ植物を市民とともに調査し、採集・同定し、標本にしてきた。参加している市民は、この活動を通してシダ植物の見方、採集の仕方、同定方法、標本化を学び、皆力をつけられたようだ。はじめに、とりあえず身近なシダを30種は同定できるようになろうと目標を与えたが、3年間でその目標をクリアする人が何人も現れた。その人たちにシダ植物に関する市民研究員認定証を授与してもらった。この活動を通じ茅野市とその周辺のかなりの地域のシダ植物についての情報が得られたので、3年間の活動の記録とともに報告する。

## 2 活動の記録

博物館を拠点に足並みをそろえて行った活動のみを記載する。各自が自主的に調査、採集を行ったものは記載していない。平成28年度

- 6月4日 地図に方眼記入 採集方法と記録のとり方 同定の手順 持参採集標本の同定
- 6月25日 標本化の手順 博物館東の柳川の川岸のシダ調査 持参採集標本の同定
- 7月10日 小泉山調査 採集標本整理
- 8月6日 シダ植物の歴史 持参標本の同定と同定のポイント

平成29年度

- 4月29日 たる姫神社周辺シダ調査 標本同定と棚入れ

- 6月3日 信州大学自然科学館見学
  - 6月25日 吉田山のシダ調査 採集シダの同定 標本作成 整理 ラベル作成について
  - 7月30日 持ち寄り標本の同定 ラベル作成について 広河原と立場川合流地点のシダ調査
  - 8月27日 山梨北東部、茅野東部と北海道東部のミヤマワラビ、ミヤマシケシダの形態比較 館周辺調査
  - 9月24日 吉田山のシダ調査 採集シダの同定 標本作成
  - 10月29日 日本のシダ植生と分布について
  - 11月26日 ラベル作成について 持参シダの同定 前宮周辺のサンプリング 採集シダの同定
  - 12月24日 シダ植物日本の分布について 採集シダの同定と標本作成 整理 持参シダの同定
  - 1月28日 シダ植物の研究手法 採集シダの同定と標本作成 整理
- 平成30年度
- 4月22日 採集方法 標本作成手順 記録の仕方 茅野市のシダの分布状況
  - 5月27日 吉田山の調査 標本の作成方法
  - 6月10日 富士見程久保川沿い調査
  - 6月24日 三井の森、竜神池周辺調査 採集 同定
  - 7月29日 立場川方面調査 採集と同定
  - 8月19日 滝の湯大滝下調査 採集標本整理
  - 9月30日 自主活動標本整理
  - 10月28日 自主活動標本整理 永明寺山調査
  - 11月23日 標本整理 持参シダの同定
  - 11月24日 標本整理 持参シダの同定
  - 11月25日 標本整理 持参シダの同定
  - 11月27日 標本整理 持参シダの同定
  - 11月28日 標本整理 持参シダの同定
  - 11月29日 標本整理 持参シダの同定
  - 11月30日 川崎市生田緑地のシダ観察 かわさき自然調査団シダ班との交流
  - 12月16日 自主活動標本整理
  - 2月17日 活動発表展準備
  - 3月17日 活動発表

\*信州大学理学部特任・名誉教授 小樽市

<第2期のシダグループ参加者名簿>

鵜飼 恭子 奥原 聡 小林 智子 小山 京子  
野崎 順子 花尾 薫 林 秀樹 矢島 三喜子

山口 明子 山崎 英一郎 若宮 稔美



定例学習会



観察調査